

東北地方へTEC-FORCE派遣

～令和元年(2019)台風第19号～

TEC-FORCE Technical Emergency Control FORCE



福島県いわき市 被災状況調査(令和元年10月27日撮影)



令和元年10月

国土交通省 中部地方整備局

TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の概要

TEC-FORCEとは

- 大規模な自然災害等に際して、被災自治体に対し、被災状況の迅速な把握、被害の拡大の防止、被災地の早期復旧等に関する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施するため、平成20年4月に創設
- 国土交通省災害対策本部長の指揮命令系統のもと、全国の地方整備局等の職員が活動
- 中部地方整備局の職員の内 **1,438** 名が隊員として任命（平成31年4月現在）

令和元年10月台風第19号に係る被害の概要

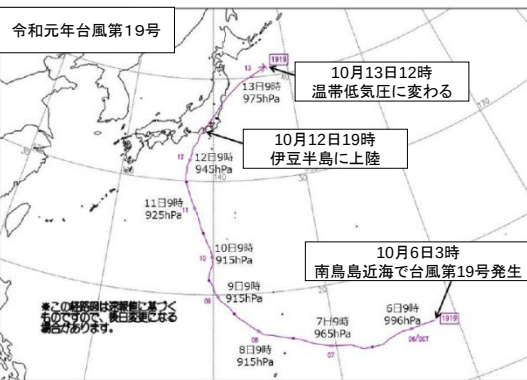
令和元年台風第19号の概要

台風第19号は、12日19時前に大型で強い勢力で伊豆半島に上陸し、勢力を維持したまま関東地方を北東へ進み、13日未明には福島県を通過して明け方には宮城県沖に抜けた。

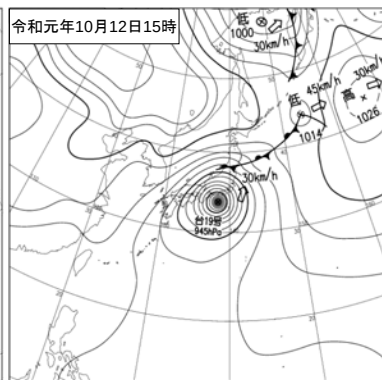
東北地方では、10月11日から前線の影響で雨が降り出し、12日には台風の接近により太平洋側では昼前から激しい雨となり、12日19時50分に福島県と宮城県、13日00時40分に岩手県で大雨特別警報が発表された。10月11日から13日までの総雨量は、宮城県丸森町筆甫（ひっほ）607.5mm、岩手県普代（ふだい）467.0mmなど、多い所では10月1か月分の平年値の3～4倍の雨量となった。（仙台湾気象台資料抜粋）

▶ 台風経路図（仙台湾気象台情報）

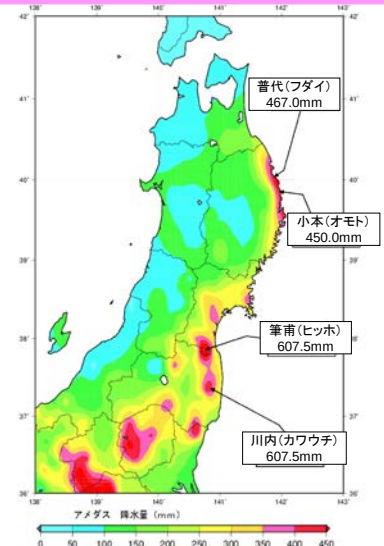
▶ 解析雨量（仙台湾気象台情報）



台風経路図



地上天気図



▶ 被害情報（消防庁情報・東北地方整備局情報）

○ 全国の被害の状況

■ 人的被害

死者	95名
行方不明者	5名

■ 物的（住家）被害

全壊	1,767棟
半壊	6,505棟
床上浸水	33,237棟
床下浸水	36,596棟

（消防庁情報：11月6日8:00現在）



阿武隈川水系阿武隈川：福島県須賀川市（10月13日）



鳴瀬川水系吉田川：宮城県黒川郡大郷町（10月13日）

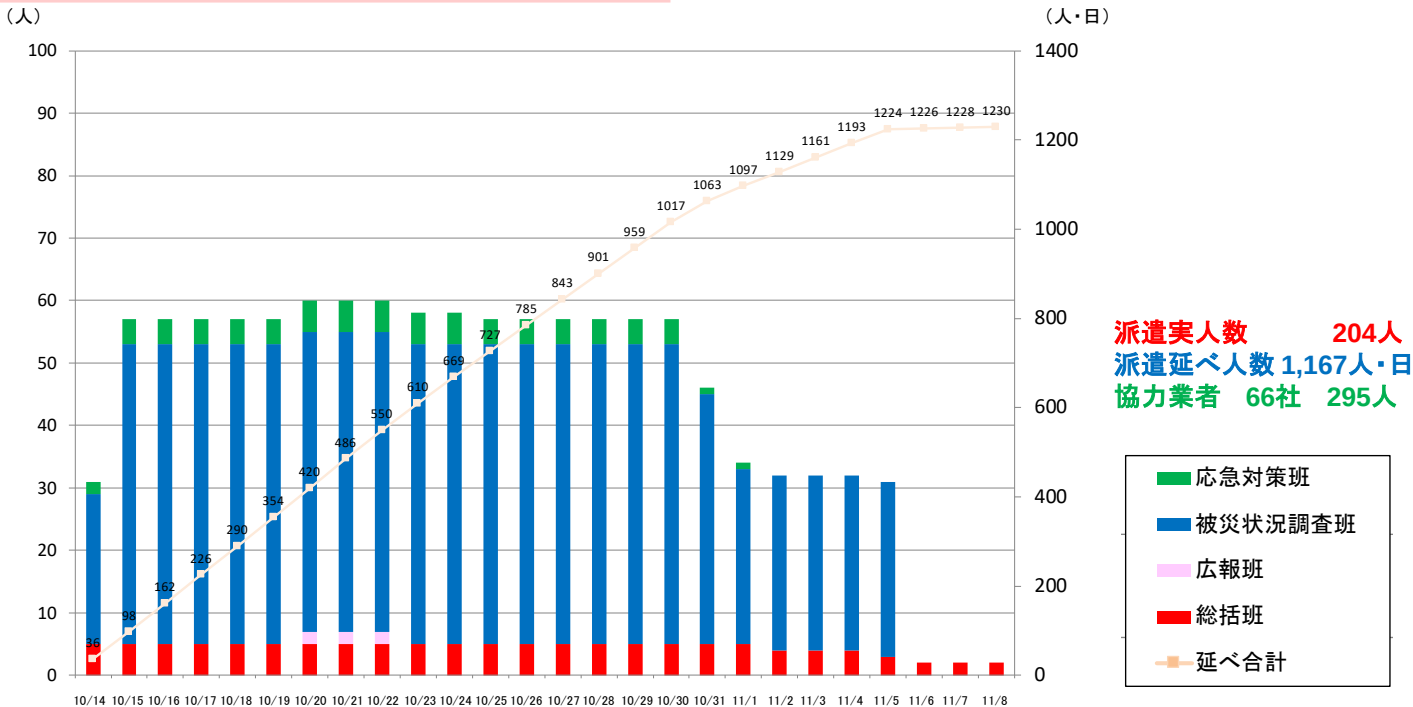
TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）の活動

TEC-FORCE派遣

台風第19号による甚大な被害に対し、中部地方整備局はTEC-FORCEを岩手県の3市2町2村、宮城県の大崎市、角田市、福島県の5市に派遣した。このうち岩手県、宮城県、福島県の15自治体において河川、道路、土砂災害の被災状況調査を実施し、調査結果等を各自治体等へ報告し、迅速な被災状況把握に努めた。また宮城県（大崎市、角田市）で排水ポンプ車による排水作業を実施し、早期の浸水解消に努めた。この派遣は、第4陣まで延べ1,167人・日となり、近年では最大規模の派遣となった。

中部地方整備局TEC-FORCE派遣状況（東北地整）

11月8日現在



総括班【第1陣～第4陣】

- 期間: 10/14～11/8
- 職員: 4班、17名
- 協力業者: 車両管理4名
- 派遣箇所: 東北地整(仙台市)

被災状況調査班【第1陣】

- 期間: 10/14～10/21
- 職員: 12班、48名
- 協力業者: 車両管理21名、測量(コンサル)3名
- 派遣箇所: 5市、3町、2村
岩手県(久慈市、普代村、田野畑村、
宮古市、山田町、大槌町、釜石市)
宮城県(岩沼市、丸森町)、
福島県(福島市、相馬市)

被災状況調査班【第2陣】

- 期間: 10/19～10/26
- 職員: 12班、48名
- 協力業者: 車両管理17名、測量(コンサル)3名
- 派遣箇所: 1市、2町、2村
岩手県(久慈市、普代村、田野畑村、宮古市、
大槌町)、
宮城県(丸森町)

被災状況調査班【第3陣】

- 期間: 10/24～10/31
- 職員: 12班、48名
- 協力業者: 車両管理13名
- 派遣箇所: 6市、1町
岩手県(宮古市)、
宮城県(丸森町、角田市)、
福島県(相馬市、いわき市、伊達市、伊達市)

被災状況調査班【第4陣】

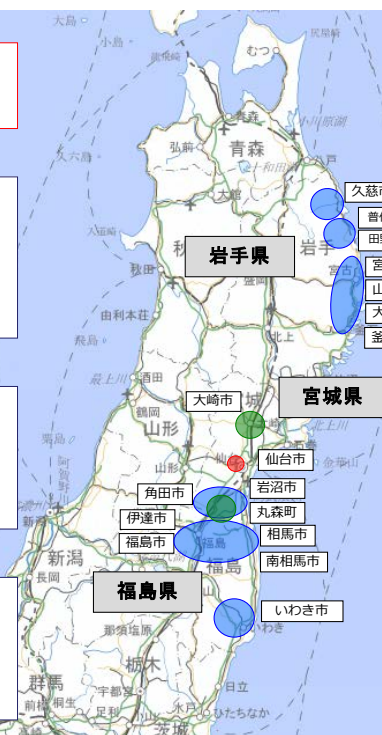
- 期間: 10/29～11/5
- 職員: 7班、28名
- 協力業者: 車両管理8名
- 派遣箇所: 3市、1町
宮城県(丸森町)、
福島県(相馬市、南相馬市、いわき市)

緊急対策班

- 期間: 10/14～11/1 ※職員のみ
- 職員: 12班、13名
- 協力業者: 車両管理17名、オペレータ等208名
- 派遣車両: 排水ポンプ車20台、照明車11台
- 派遣箇所: 2市
宮城県(大崎市・角田市)

広報班

- 期間: 10/20～10/22
- 職員: 1班、2名
- 協力業者: 車両管理1名
- 派遣箇所: 3市
宮城県(大崎市)、
福島県(福島市、伊達市)



- : 被災調査実施箇所
- : 緊急対策実施箇所
- : 総括班拠点

隊員の活動状況

現地での調査にあたっては自治体職員及び地元の方から現場状況を聞き取りつつ作業を行った。



R1.10.16

岩手県山田町

道路崩落箇所の被災状況調査



R1.10.24

宮城県丸森町

河川の法面崩落箇所の被災状況調査



R1.10.25

福島県伊達市

地元の方から被災状況の聞き取り調査

ドローンを使って被災状況調査を実施した。

24時間体制で排水作業を行い早期の浸水解消に努めた。



R1.10.27

福島県いわき市

ドローン撮影による崩落箇所等の調査



R1.10.22

宮城県大崎市(吉田川)

各地から排水ポンプ車が集結し対応



R1.10.21

宮城県大崎市(鶴田川)

24時間体制で排水作業を実施

調査結果の報告

岩手県釜石市をはじめとする15の自治体に被災状況調査の結果を報告した。



R1.10.19

岩手県釜石市長



R1.10.25

福島県福島市長



R1.11.5

福島県南相馬市長



国土交通省

国土交通省 中部地方整備局 災害対策マネジメント室
〒460-8514
名古屋市中区三の丸2-5-1
名古屋合同庁舎2号館 Tel:052-685-0533
URL:<http://www.cbr.mlit.go.jp>

令和元年11月26日作成